

2016年度 北海道サケネットワーク総会 要録

日 時： 2016年11月12日（土）12:30～

場 所： TKP 札幌カンファレンスセンター

開会の挨拶 北海道サケネットワーク代表・河村 博

本日は時節柄、ご多忙の折、総会並びにサケ会議にお集まり頂き本会を代表しお礼申し上げます。また、日頃のご理解とご協力に対しても重ねてお礼申し上げます。

このところ、北海道のサケを巡る情勢は、この秋の沿岸サケ漁は、連続して襲来した台風の影響も受け、漁獲量が大きく落ち込んでいる。10月末現在では昨年同期の70%に当たる2220万尾にとどまっている。サケにとどまらず、サンマ、イカなどの減少は、漁業は勿論、加工、運搬、販売、消費に関わる皆様がたにも大きな影響を持つことであり、我々ネットワークにも大きく関わることであり、後期群の状況について見守って行きたい。

ところで、代表就任2年目を迎えましたが、この会は、異なる団体で構成するユニークな団体と自負している。本会の活動は、HP や会報、ニュースレターを通じて情報共有を目指しており、そのバージョンアップは欠かせぬものとする。本会議でもいくつかの協議事項が提案されることになっているが、これらの点を踏まえ、有意義な機会となることをねがっている。

【報告事項】

1. 2016年度の活動報告

- 1) 16年度総会・サケ会議開催
- 2) 会報8号発行
- 3) ニュースレター49号発行

2. 会員からの報告（情報交換の項）

【協議事項】

1. 2015年度決算報告および監査報告

《収入の部》

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
前期繰越金	41,062	70,677	
会 費	42,000	50,000	
寄 付	0	0	
合 計	83,062	120,677	

《支出の部》

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
手 数 料	2,000	1,040	
通 信 費	5,000	2,948	
消 耗 品 費	2,000	3,633	
会 議 費	10,000	31,579	
会 報 費	0	0	
予 備 費	64,062	21,480	
合 計	83,062	60,680	

(次年度繰越金120,677-60,680=59,997)

北海道サケネットワークの、2015年度(2015年1月1日から2015年12月31日まで)の会務、並びに会計の収支決算報告について、関係諸帳簿などを監査した結果、適正に執行・処理されていると認めます。

2016年2月2日

監 事 安達 宏泰

監 事 荒木 数男

以上により、2015年度の決算が意義なく承認された。

2. 2016年度予算執行状況

2016年9月末現在の執行状況の中間報告がなされた。

《収入の部》

科 目	15年度予算額	9月末までの収入額	決算見込額
前 期 繰 越 金	40,667	59,997	59,997
会 費	42,000	41,000	42,000
寄 付	0	0	0
合 計	82,677	100,997	101,997

《支出の部》

科 目	15年度予算額	9月末までの執行額	決算見込額
手 数 料	2,000	790	2,000
通 信 費	5,000	2,854	5,000
消 耗 品 費	2,000	2,748	5,000

会 議 費	10,000	10,044	40,000
会 報 費	0	0	0
予 備 費	63,667	2,030	20,000
合 計	82,677	20,827	72,000

(次年度繰越金101,997-72,000=29,997)

3. 2017年度予算案

《収入の部》

科 目	前年度予算	17年度予算	増 減
前期繰越金	40,667	29,997	-10,680
会 費	42,000	42,000	0
寄 付	0	0	0
合 計	82,667	71,997	-10,680

《支出の部》

科 目	前年度予算	17年度予算	増 減
手 数 料	2,000	2,000	0
通 信 費	5,000	5,000	0
消 耗 品 費	2,000	2,000	0
会 議 費	10,000	10,000	0
会 報 費	0	0	0
予 備 費	63,667	52,997	-10,680
合 計	82,677	71,997	-10,680

4. 会計年度の改正

- 1) 会計年度：現行会計年度1月1日～12月31日を4月1日～翌3月31日に改正
- 2) 総 会：定期総会の開催，秋期を春期に改正

5. 規約改正

年度，総会開催期の変更に伴い，付則を改正する。

6. 役員改選

年度の改正などにより原案提出にいたらず，次により選出する。

1) 役員選考委員を 寺島一男, 木村義一, 市村政樹とする. (後日承認済み)

2) メールで選考委員に次の者を推薦する.

代 表 (1)	阿 部 周 一	札幌サケ協議会
副 代 表 (1)	寺 島 一 男	大雪と石狩の自然を守る会
事務局長 (1)	木 村 義 一	札幌サケ協議会
幹 事 (若干名)	市 村 政 樹	標津サーモン科学館
	千 葉 養 子	とかち・帯広サケの会
監 査 (2)	安 達 宏 泰	水産総合研究機構
	佐 藤 信 洋	豊平川さけ科学館
顧 問	浦 野 明 央	北海道大学名誉教授
	河 村 博	北海道立総合研究機構・フェロー

【情報交換】 (要約)

会員相互の近況について情報を交換した.

道立さけます内水面水産試験場 (宮越氏)

サケが大変な不漁. 原因を検討中.

水産総合研究機構 (安達氏)

不良原因として, 不適正な放流技術も視野に検討中.

千歳水族館 (菊池氏)

千歳川のサケそ上も良くない. 入場者は前月の50%. 台風の影響か?

浦野氏

会報の状況について.

上田氏 (北大北方圏)

「サケの記憶」について出版準備中.

阿部氏 (サケ協議会)

この会に戻ってきたので宜しく.

寺島氏 (大雪と石狩の自然を守る会)

旭川のサケは1983年から放流. 2001年38年ぶりに戻ってきた.

木村氏 (札幌サケ協議会)

今までネットワークの事務局を担当していたサーモン協会が解散. その後継役として札幌サケ協議会を発足.